

「じゃらん宿泊旅行調査 2017」



- 2016年度の宿泊旅行実施率は54.8%、調査開始以来、過去最低
- 年間旅行回数の平均は2.77回、延べ宿泊数は2億5308万人泊で、前年度比▲5.9%
- 宿泊旅行にかけられた費用総額は約7兆円で、前年度を9.0%下回る

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）に設置された観光に関する調査・研究、地域振興機関「じゃらんリサーチセンター」（センター長：沢登 次彦）は、この度、全国1万5,555人の宿泊旅行者を対象に「じゃらん宿泊旅行調査2017」を実施しました。この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う国内旅行実態を把握するために行っている調査で、出張・帰省・修学旅行などを除いたマーケットの動向を調べています。2016年度（2016年4月～2017年3月）における国内宿泊旅行の行き先や回数、旅行費用などを調査し、今年で13回目の実施となります。主な結果は以下の通りです。

TOPICS

【延べ宿泊旅行者数推計】

.....P3

- 2016年度（2016年4月～2017年3月）の宿泊旅行実施率は54.8%と、調査開始以来、過去最低
- 宿泊旅行実施者の1年間の旅行実施回数は2.77回、前年度をわずかに下回る
- 延べ宿泊旅行者数は前年度比6.2%減の1億4358万人
- 延べ宿泊数は2億5308万人泊で、前年度比5.9%減

【宿泊旅行の費用総額】

.....P4

- 宿泊旅行にかけられた費用総額は約7兆円。前年度比で9.0%減と大きく減少
- 1回（大人1人あたり）の宿泊旅行にかかった費用は前年度より1,500円減少し、平均4万9300円

【同行形態】

.....P5

- 2004年度の調査開始以来増加していた「一人旅」は17.2%で前年度と同程度
- 20～34歳男性、50～79歳男性では引き続き「一人旅」が増加傾向

【都道府県別の延べ宿泊旅行者数と増減】

.....P6

- 延べ宿泊旅行者数1位は東京都、2位は北海道で前年度と変わらず。上位10都道府県いずれも前年度比減
- 延べ宿泊旅行者数が前年度よりも増加したのは佐賀県、福井県、茨城県など8県にとどまった

【テーマ別・都道府県魅力度ランキング】

.....P8-9

▶ 地元ならではのおいしい食べ物が多かった	1位	高知県	2位	石川県	3位	北海道
▶ 魅力のある特産品や土産物が多かった	1位	沖縄県	2位	石川県	3位	京都府
▶ 魅力的な宿泊施設が多かった	1位	大分県	2位	沖縄県	3位	岐阜県
▶ 地元の人のホスピタリティを感じた	1位	沖縄県	2位	鹿児島県	3位	高知県
▶ 子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	和歌山県
▶ 若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	大阪府
▶ 大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	沖縄県	2位	京都府	3位	千葉県
▶ 現地で良い観光情報を入手できた	1位	沖縄県	2位	京都府	3位	奈良県

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

調査概要

◎調査名 じゃらん宿泊旅行調査2017

◎調査方法 インターネットによる調査

■1次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者を抽出することに加え、性・年代別の宿泊旅行実施率を知るために実施した
 - ②調査時期 2017年4月3日（月）～15日（土）
 - ③調査対象 全国20～79歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
 - ④配信数 41万838件
 - ⑤調査内容 2016年度（2016年4月～2017年3月）1年間の国内宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）について
 - ⑥回収数 7万件（回収率17.0%）
 - ⑦1次調査 集計対象者数 2万件
※2次調査において都道府県別、性・年代別の割付にあった回収が得られるように配信した
・配信数と割付について
2次調査のセル別目標回収数は、「平成27年 国勢調査」の都道府県別・性・年代別の人口におおむね従うように47都道府県を5ランクに分けてサンプル数を割り付けて配信した
ランクごとに6:5:3:2:1の割合で、合計約1万5400件の回収を目標とした
・2次調査の配信数は、ウェイトバック値のバランスをなるべくそろえるために、県別に均等割付ではなく、ランクを設けて割付を行った上で、1次調査および追加調査の旅行実施者3万8780件を都道府県ごとに分配し、サンプル数を割り付けて配信した
※回収された7万件のうち都道府県別・性・年代別に割付を行い2万件を抽出。性・年代別宿泊旅行実施率を算出
- ⑧2次調査対象件数 3万8426件

■2次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者に対して、宿泊旅行の内容を知るために実施した
- ②調査時期 2017年4月10日（月）～25日（火）
- ③調査対象 3万8780件（うち、同居家族モニター354件）
・1次調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人：3万8426件
・追加調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人のうち、調査協力が得られた60歳以上の家族本人：354件
※調査回収難度が高い60歳以上の回収数を増やすために追加調査を実施した。追加調査は株式会社マクロミルの登録モニターのうち60歳以上の家族と同居しているモニターを対象として、該当家族が同席する上で回答という条件で実施した（回収数1万件<配信数6万492件 回収率16.5%>、2次調査対象者数354件）
- ④配信数 2万7268件（うち、同居家族モニター56件）
※配信数は対象者の中から都道府県別、性・年代別の割付にあわせてランダムに抽出した
- ⑤調査内容 昨年度1年間に実施したすべての宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の行き先と回数について、また1人最大3件までの個別宿泊旅行について、具体的な内容を調査した
- ⑥回収数 1万5597件（回収率57.2%）
- ⑦有効回答数 1万5555件（うち、同居家族モニター41件、旅行件数ベース3万831件）

※集計・分析手法について

はじめに平成28年10月1日現在人口推計（総務省統計局発表）および1次調査結果を用い、全国の宿泊旅行者の母集団を推計した。次に、2次調査の集計・分析にあたり、推計された宿泊旅行者の母集団における都道府県別、性・年代別構成比に基づいてウェイトバックを行い、構成比のずれを補正している

また今回は60歳以上の登録モニター数が少ない県について、60歳以上の家族と同居している登録モニターに代理回答を実施、2次調査の調査対象として追加した

**2016年度の宿泊旅行実施率は54.8%と、調査開始以来過去最低
平均旅行回数も微減し、延べ宿泊数は前年比5.9%減**

2016年度の1年間に宿泊旅行（※1）を行った人の割合は前年度比1.6pt減の54.8%で、2004年度の調査開始以来、過去最低となった。実施者における年間平均旅行回数は2.77回と前年度をわずかに下回り、宿泊旅行1回あたりの平均宿泊数は1.76泊と前年と同程度。延べ宿泊旅行者数（※2）は前年度比で6.2%の減少、延べ宿泊数（※3）は2億5308万人泊で、前年度比5.9%減と推計される。宿泊旅行実施率は50～79歳の女性で3.0pt減と減少幅が大きい。

- ※1 宿泊旅行・・・国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く。ただし、友人・知人宅、車中泊、キャンプなど宿泊施設を利用しない場合でも宿泊を伴う旅行であれば含める
- ※2 延べ宿泊旅行者数・・・推計人口 × 宿泊旅行実施率 × 宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数
- ※3 延べ宿泊数（人泊）・・・延べ宿泊旅行者数 × 宿泊旅行実施者の1回の旅行あたり平均宿泊数
- ※4 宿泊数の設問形式を2014年度から変更。主なエリアの宿泊数と他エリア、他の都道府県の宿泊数を分けて尋ね、それぞれ合算して平均宿泊数を算出
よって、2013年度以前の平均宿泊数、延べ宿泊者数（斜体の部分）は直接は比較できない参考値

◇延べ宿泊旅行者数の推計方法

※推計値の算出は四捨五入していない実データで行っている

	H28年10月1日 現在人口推計	調査結果			推計値		
	人口 (万人) <A>	宿泊旅行 実施率 (%) 	宿泊旅行 実施者の 年間平均 旅行回数 (回) <C>	宿泊旅行 実施者の 1回の旅行あたり 平均宿泊数 (泊) <D>	実 宿泊旅行者数 (万人) A*B	延べ 宿泊旅行者数 (万人回) A*B*C	延べ 宿泊数 (万人泊) A*B*C*D
(2016年度)全国20～79歳男女	9,475	54.8	2.77	1.76	5,188	14,358	25,308
	前年度との差→	▲ 1.6	▲ 0.09	前年度との差→	▲ 170	▲ 955	▲ 1,595
				前年度比→	▲ 3.2%	▲ 6.2%	▲ 5.9%
(2015年度)全国20～79歳男女	9,498	56.4	2.86	1.75	5,358	15,313	26,903
(2014年度)全国20～79歳男女	9,520	56.9	2.79	1.68	5,420	15,110	25,397
(2013年度)全国20～79歳男女	9,557	57.5	2.84	1.60	5,491	15,599	24,972
(2012年度)全国20～79歳男女	9,598	55.8	2.71	1.61	5,354	14,505	23,445
(2011年度)全国20～79歳男女	9,646	57.6	2.64	1.63	5,561	14,686	23,987
(2010年度)全国20～79歳男女	9,672	56.7	2.73	1.64	5,489	15,020	24,686
(2009年度)全国20～79歳男女	9,653	60.3	2.79	1.65	5,819	16,239	26,778
(2008年度)全国20～79歳男女	9,688	63.1	2.84	1.68	6,110	17,355	29,235
(2007年度)全国20～79歳男女	9,707	63.8	2.83	1.69	6,196	17,514	29,604
(2006年度)全国20～79歳男女	9,686	64.7	2.77	1.69	6,269	17,366	29,325
(2005年度)全国20～79歳男女	9,722	66.1	2.78	1.72	6,424	17,875	30,856
(2004年度)全国20～79歳男女	9,707	65.4	2.73	1.68	6,350	17,343	29,024

※人口について、次の統計値を用いて調査を行っています。

2014年度：H26年10月1日現在人口推計
2010年度：H22年国勢調査<速報>
2006年度：H17年10月1日現在国勢調査人口

2013年度：H25年10月1日現在人口推計
2009年度：H21年10月1日現在人口推計
2005年度：H16年10月1日現在人口推計

2016年度：H28年10月1日現在人口推計
2012年度：H24年10月1日現在人口推計
2008年度：H20年10月1日現在人口推計
2004年度：H15年10月1日現在人口推計

2015年度：H27年国勢調査<速報>
2011年度：H23年10月1日現在人口推計
2007年度：H19年10月1日現在人口推計

◇性・年代別

宿泊旅行
実施率の推移

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
全国20～79歳男女	65.4	66.1	64.7	63.8	63.1	60.3	56.7	57.6	55.8	57.5	56.9	56.4	54.8
20～34歳 / 男性	62.5	61.4	61.0	61.8	60.6	57.0	53.2	57.2	52.8	51.3	54.1	53.8	51.7
20～34歳 / 女性	68.0	66.7	67.1	66.3	66.8	65.0	61.3	64.0	62.3	64.0	64.3	61.9	60.3
35～49歳 / 男性	61.9	62.2	60.4	60.1	59.6	56.9	53.6	53.0	51.8	53.1	53.7	53.4	52.0
35～49歳 / 女性	62.6	64.8	61.5	58.9	58.7	57.8	53.6	55.9	53.7	56.3	55.3	54.8	53.8
50～79歳 / 男性	63.8	67.4	64.8	64.7	63.2	59.9	55.1	55.9	54.4	57.6	56.2	55.6	55.0
50～79歳 / 女性	70.3	69.7	69.2	67.3	66.5	63.1	61.2	60.2	59.0	60.3	58.5	58.6	55.6

(%)

◇性・年代別

延べ宿泊
旅行者数の
推移

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
全国20～79歳男女	17,343	17,875	17,366	17,514	17,355	16,239	15,020	14,686	14,505	15,599	15,110	15,313	14,358
20～34歳 / 男性	2,219	2,201	2,036	2,075	1,975	1,879	1,612	1,608	1,450	1,537	1,553	1,545	1,434
20～34歳 / 女性	2,319	2,284	2,214	2,102	2,074	1,876	1,802	1,705	1,648	1,779	1,691	1,627	1,543
35～49歳 / 男性	2,045	2,175	1,833	2,106	2,084	2,069	1,888	1,902	1,864	2,038	2,028	2,128	1,984
35～49歳 / 女性	1,963	2,017	1,847	1,900	1,856	1,841	1,777	1,711	1,669	1,851	1,776	1,823	1,771
50～79歳 / 男性	3,959	4,472	4,424	4,310	4,414	3,946	3,578	3,601	3,543	3,941	3,795	3,889	3,772
50～79歳 / 女性	4,837	4,726	5,013	5,022	4,952	4,628	4,362	4,158	4,331	4,453	4,266	4,301	3,855

(万人回)

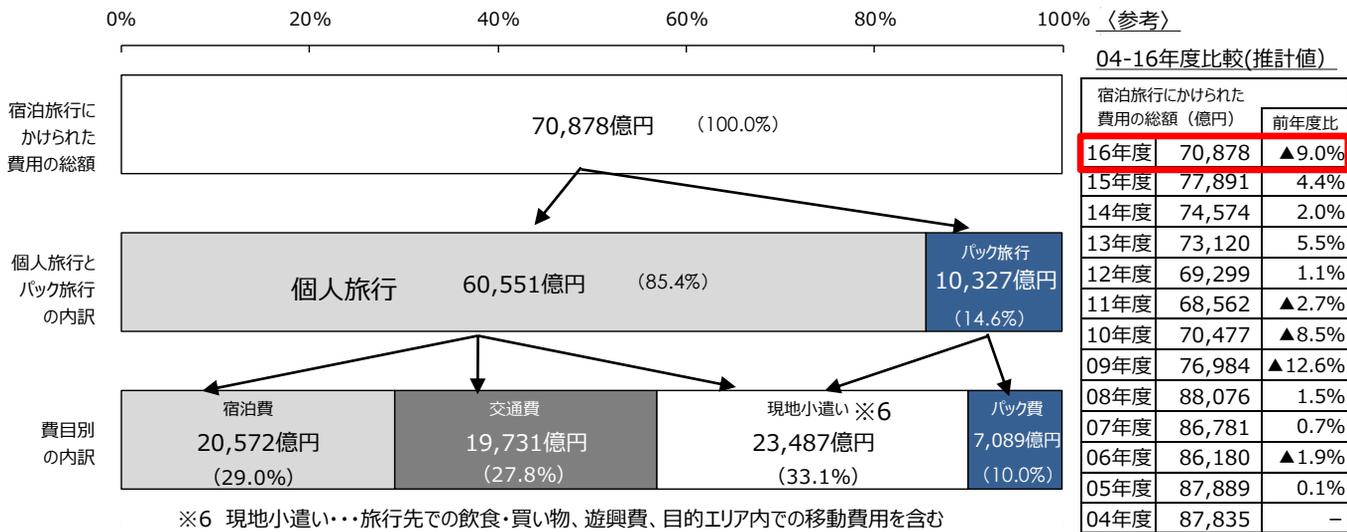
TOPIC 宿泊旅行の費用総額

宿泊旅行にかけられた費用総額は約7兆円。前年度比で9.0%減少
1回（大人1人あたり）の宿泊旅行にかかった費用は前年度より1,500円減少

1回あたりの宿泊旅行費用（※5）は、平均で前年度5万800円から1,500円減少し、4万9300円。個人旅行（※6）ではいずれの内訳においても前年度を下回る結果となった。一方、パック旅行については現地小遣いのみ400円の上昇。総額では7兆878億円の推計となり、前年度を9.0%下回った。

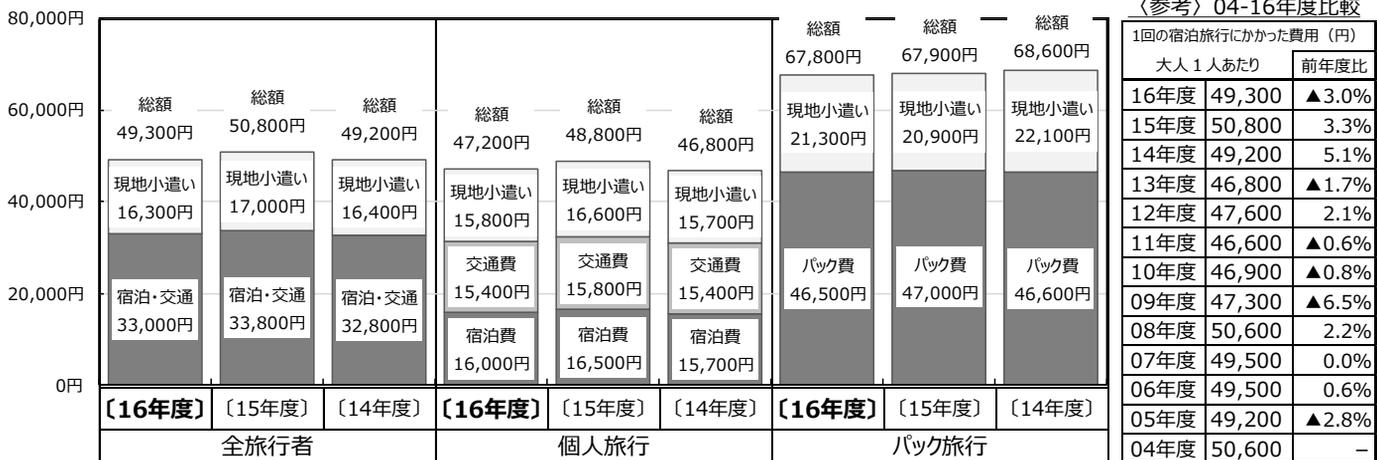
- ※5 1回の宿泊旅行にかかった費用（大人1人あたり）・・・1回の宿泊旅行にかかった費用について、個人旅行の場合、1人あたりの宿泊費・交通費・現地小遣いの合計。パック旅行の場合、1人あたりのパック費・現地小遣いの合計
- ※6 個人旅行・・・個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む

◇ 宿泊旅行にかけられた費用総額（推計値）



◇ 1回の宿泊旅行にかかった費用（大人1人あたり）

※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合があります



〈全国の宿泊旅行費用総額の推計方法〉

- ①集計データより全国の性・年代別の個人旅行とパック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②全国の性・年代・手配方法（個人orパック）別の旅行費用の平均値（単価）を算出
- ③全国の性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④性・年代別の費用総額の結果を積み上げて全国の宿泊旅行費用総額を算出

〈参考〉宿泊旅行の手配方法

※個人旅行とは、「自分たちで宿を手配」と「旅行会社を通して宿を手配」と回答した人を合わせた割合。パック旅行とは、「旅行会社のパックを利用して旅行」の割合



TOPIC 宿泊旅行の同行者

「一人旅」は17.2%、前年度とほぼ同程度
 一方、男性20～34歳、男性50～79歳では引き続き「一人旅」の割合は増加傾向が続く。

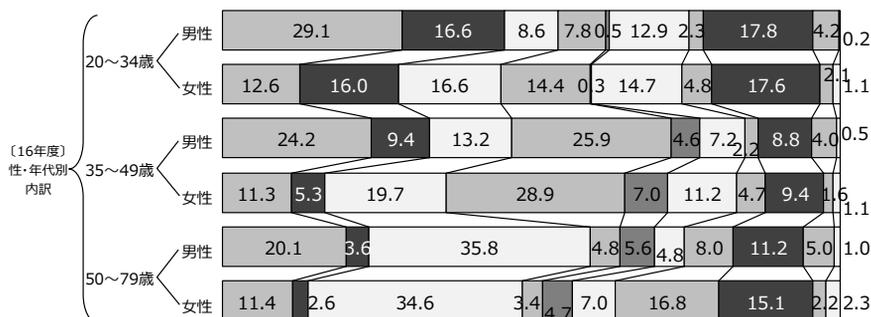
もっとも割合が高いのは「夫婦二人での旅行」で25.5%。次いで「一人旅」が17.2%と続く。前年度と分布の変化はほとんど見られなかった。「一人旅」は調査開始以来増加傾向にあったが、今年初めて頭打ちとなった。一方、属性別では、20～34歳の男性で「一人旅」が29.1%、50～79歳の男性で20.1%と、前年度を上回り、この2属性においては「一人旅」は増加傾向が続いている。

◇宿泊旅行の同行形態（単一回答）

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数>

※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊旅行は含まない

	一人旅	恋人との旅行	夫婦二人での旅行	家族旅行 小学生以下の子連れ	中学生以上の子連れ	親連れ家族旅行	その他の家族旅行	友人との旅行	団体旅行やサークルなど	その他
(16年度) 全体	17.2	7.0	25.5	11.8	4.3	8.5	8.3	13.1	3.2	1.2
(15年度) 全体	17.5	7.0	25.3	11.2	4.2	8.5	8.4	13.2	3.3	1.4
(14年度) 全体	15.9	7.3	24.5	11.9	4.2	8.2	8.9	13.9	3.8	1.4
(13年度) 全体	15.4	7.0	24.8	11.7	4.3	8.4	9.1	13.8	3.8	1.7
(12年度) 全体	14.5	7.2	24.1	12.7	4.3	7.9	9.2	13.8	4.4	1.8
(11年度) 全体	14.1	7.4	24.5	12.6	4.0	8.0	8.8	14.3	4.5	1.9
(10年度) 全体	13.1	7.2	24.4	12.8	3.9	7.8	9.0	15.3	4.7	1.8
(09年度) 全体	12.9	7.4	24.3	12.4	3.7	7.7	9.3	15.2	5.2	2.0
(08年度) 全体	12.5	7.4	24.2	12.0	3.6	7.6	9.3	15.3	5.8	2.2
(07年度) 全体	12.0	7.3	23.8	12.4	3.7	7.2	9.3	15.9	6.1	2.2
(06年度) 全体	11.2	7.7	24.0	12.8	3.5	7.1	9.5	16.4	5.7	2.2
(05年度) 全体	10.8	7.7	23.6	13.5	3.7	7.0	9.5	15.6	6.4	2.1
(04年度) 全体	10.5	8.1	22.4	14.6	4.3	7.3	8.6	15.3	5.8	3.0



◇「一人旅」構成比の推移

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数>

性・年代別	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
20～34歳	男性	14.9	17.7	19.5	20.3	20.1	21.6	20.9	23.3	23.2	26.1	26.9	29.1
	女性	7.2	8.2	8.7	8.6	9.2	10.3	10.0	10.7	10.2	11.6	12.6	12.6
35～49歳	男性	12.3	13.7	13.9	15.2	15.7	16.7	18.4	18.5	20.9	21.9	23.0	24.2
	女性	5.8	6.7	6.7	7.3	7.7	7.4	9.4	8.2	8.0	9.7	10.1	11.7
50～79歳	男性	13.6	12.5	12.2	13.1	14.6	14.1	14.1	17.4	16.9	17.7	18.3	20.1
	女性	8.9	8.1	8.8	9.5	9.6	10.3	9.8	9.9	11.3	11.0	10.4	11.4

延べ宿泊旅行者数1位は東京都、2位は北海道で前年度と変わらず
上位10都道府県いずれも前年度比減

延べ宿泊旅行者数が前年度よりも増加した都道府県は佐賀県、福井県、茨城県
など8県にとどまった

「延べ宿泊旅行者数の多い旅行先」の上位10都道府県の顔ぶれは、1位の東京都、2位の北海道は前年度と変わらず。3位の静岡県は前年5位から、4位の神奈川県は前年6位から上がるものの、いずれのエリアにおいても前年を下回る旅行者数となった。

「延べ宿泊旅行者数」の増加率1位は佐賀県。増加した都道府県は8県にとどまり、ブロック別に見ても、いずれのエリアも前年度から減少している。

※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊旅行は含まない。ただし、友人・知人宅、車中泊、キャンプなど宿泊施設を利用しない場合でも、宿泊を伴う旅行であれば含める

※1回の旅行において複数の都道府県に宿泊した場合、それぞれの都道府県に旅行回数1回とカウントしている

※1人あたり1年間に行ったすべての旅行回数を尋ねた結果から推計している

◇都道府県別の延べ宿泊旅行者数（推計値）

※上位10都道府県

全体						増減傾向				
2016年度 推計値	順位変動	2015年度 推計値	2014年度 推計値	2013年度推計値	2012年度推計値	16← 15	15← 14	14← 13	13← 12	
全 国	14,358万人		15,313万人	15,110万人	15,599万人	14,505万人	-	+	-	+
1位 東京都	1,527万人	←	(1位 1,675万人)	(1位 1,702万人)	1,720万人	1,659万人	-	-	-	+
2位 北海道	988万人	←	(2位 1,069万人)	(2位 1,064万人)	1,027万人	1,025万人	-	+	+	+
3位 静岡県	723万人	↑	(5位 748万人)	(3位 770万人)	831万人	715万人	-	-	-	+
4位 神奈川県	708万人	↑	(6位 727万人)	(4位 768万人)	832万人	766万人	-	-	-	+
5位 大阪府	697万人	↓	(4位 776万人)	(5位 749万人)	769万人	706万人	-	+	-	+
6位 長野県	671万人	↓	(3位 809万人)	(6位 720万人)	773万人	785万人	-	+	-	-
7位 京都府	618万人	←	(7位 625万人)	(7位 704万人)	691万人	656万人	-	-	+	+
8位 千葉県	564万人	←	(8位 622万人)	(8位 598万人)	662万人	573万人	-	+	-	+
9位 兵庫県	484万人	←	(9位 560万人)	(11位 499万人)	567万人	474万人	-	+	-	+
10位 福岡県	480万人	←	(10位 507万人)	(9位 517万人)	499万人	474万人	-	-	+	+

◇都道府県別の延べ宿泊旅行者増減率・

増減数（2016年度-2015年度推計値）

※増減率上位10都道府県

全体		
2016年度←15年度	増減率	増減数
1位 佐賀県	16.0%	17万人
2位 福井県	11.5%	16万人
3位 茨城県	10.0%	11万人
4位 栃木県	8.8%	32万人
5位 岐阜県	5.5%	13万人
6位 香川県	2.2%	3万人
7位 鳥取県	0.5%	1万人
8位 沖縄県	0.1%	0万人
9位 大分県	▲ 0.3%	-1万人
10位 山梨県	▲ 0.9%	-3万人

【参考】ブロック別の延べ宿泊旅行者数増減

(2016年度-2015年度推計値)

		旅行先ブロック									
		北海道 ブロック	東北 ブロック	関東 ブロック	甲信越・北 陸ブロック	東海 ブロック	関西 ブロック	中四国 ブロック	九州 ブロック	沖縄 ブロック	
全体	16年度	988	1,230	3,790	1,905	1,725	2,281	1,428	1,691	449	
	15年度	1,069	1,395	4,001	2,083	1,760	2,492	1,535	1,789	449	
	14年度	1,064	1,316	4,022	1,922	1,761	2,461	1,455	1,843	515	
	16-15年度増減	-81	-165	-211	-178	-35	-211	-107	-98	0	
居住地 ブ ロ ッ ク	北海道ブロック	-38	-1	-11	1	3	-14	-4	0	3	
	東北ブロック	-4	-62	-1	-1	-6	13	-4	-10	2	
	関東ブロック	-30	-82	-63	-142	30	-86	-13	-20	-2	
	甲信越・北陸ブロック	4	-2	-17	-29	-10	1	-14	2	3	
	東海ブロック	5	-24	-43	-13	-3	-21	-19	-19	1	
	関西ブロック	-17	18	-39	16	-23	-41	8	-30	12	
	中四国ブロック	-4	-12	-11	-7	-13	-51	-55	-5	-5	
	九州ブロック	0	-2	-37	-4	-12	-13	-4	-13	-5	
	沖縄ブロック	3	2	13	1	-1	1	-1	-3	-8	

※全体増減/〜100万人以上：網掛け白文字、+100万人以上：網掛け黒文字 ※ブロック別増減/〜30万人以上：網掛け白文字、+30万人以上：網掛け黒文字

【参考】《選んだ理由別 都道府県ランキング》

- 特定のイベントやアクティビティに興味・・・1位：千葉県／沖縄県
- テレビや雑誌などで話題・・・1位：石川県
- 特定の観光地・スポットに興味・・・1位：奈良県
- 食・特産品に興味・・・1位：高知県
- 良い宿・ホテル・・・1位：大分県
- 魅力的な温泉・・・1位：大分県

「テレビや雑誌などで話題」は前年度1位の石川県が引き続きトップに。
 「食・特産品」においては、高知県が前年度5位から1位に4ランクアップした。

■ 特定のイベントやアクティビティに興味があったから (単位：%)

2016年度 順位		2015年度 順位	
全体平均	30.7	全体平均	30.4
1位 千葉県	44.3	1位 沖縄県	42.4
1位 沖縄県	44.3	2位 千葉県	41.6
3位 大阪府	41.2	3位 長崎県	40.5
4位 長崎県	40.4	4位 福岡県	38.5
5位 北海道	35.9	5位 青森県	37.9
6位 東京都	35.4	6位 北海道	36.7
7位 福岡県	35.1	7位 大阪府	35.7
8位 新潟県	33.1	8位 広島県	35.0
9位 埼玉県	33.0	9位 新潟県	34.9
10位 宮崎県	32.6	10位 東京都	34.4

■ テレビや雑誌などで話題になっていたから (単位：%)

2016年度 順位		2015年度 順位	
全体平均	21.4	全体平均	22.0
1位 石川県	32.5	1位 石川県	42.5
2位 長崎県	31.6	2位 長崎県	39.8
3位 大分県	29.8	3位 島根県	30.6
4位 京都府	28.5	4位 富山県	29.3
5位 千葉県	28.3	5位 北海道	28.5
6位 沖縄県	27.9	6位 沖縄県	27.5
6位 北海道	27.9	7位 千葉県	27.0
8位 島根県	27.8	8位 大分県	26.7
9位 三重県	26.3	9位 青森県	26.6
10位 富山県	26.2	10位 奈良県	26.2

■ 特定の観光地・観光スポットに興味があったから (単位：%)

2016年度 順位		2015年度 順位	
全体平均	63.1	全体平均	63.2
1位 奈良県	81.4	1位 島根県	82.0
2位 島根県	80.5	2位 長崎県	78.7
3位 長崎県	79.4	3位 奈良県	78.5
4位 沖縄県	78.6	4位 沖縄県	77.2
5位 京都府	78.1	5位 京都府	75.6
6位 徳島県	77.0	6位 和歌山県	75.0
7位 愛媛県	76.2	7位 千葉県	72.9
8位 石川県	73.0	7位 広島県	72.9
9位 和歌山県	72.2	9位 鹿児島県	72.2
10位 三重県	71.9	10位 青森県	71.1
		10位 愛媛県	71.1

■ そこならではの食・特産品に興味があったから (単位：%)

2016年度 順位		2015年度 順位	
全体平均	41.6	全体平均	41.3
1位 高知県	62.9	1位 沖縄県	59.7
2位 沖縄県	59.8	2位 北海道	58.6
3位 北海道	59.4	3位 香川県	58.4
4位 香川県	58.4	4位 石川県	57.4
5位 石川県	57.4	5位 高知県	56.8
6位 広島県	53.0	6位 広島県	54.2
7位 富山県	52.8	7位 福岡県	52.5
8位 福井県	49.8	8位 宮城県	51.1
9位 京都府	49.5	9位 富山県	50.7
10位 鹿児島県	49.3	9位 熊本県	50.7

■ 良い宿・ホテルがあったから (単位：%)

2016年度 順位		2015年度 順位	
全体平均	48.6	全体平均	48.3
1位 大分県	67.9	1位 大分県	63.8
2位 栃木県	63.7	2位 静岡県	63.1
3位 静岡県	61.6	3位 熊本県	61.7
4位 群馬県	59.2	4位 栃木県	61.3
5位 熊本県	58.5	5位 群馬県	60.6
6位 和歌山県	57.7	6位 和歌山県	58.0
7位 山形県	56.3	7位 福島県	56.3
7位 兵庫県	56.3	8位 神奈川県	56.2
9位 福島県	56.1	9位 三重県	55.1
10位 神奈川県	55.9	10位 山梨県	54.1

■ 魅力的な温泉があったから (単位：%)

2016年度 順位		2015年度 順位	
全体平均	34.2	全体平均	34.9
1位 大分県	77.4	1位 大分県	76.7
2位 群馬県	65.8	2位 群馬県	71.3
3位 山形県	61.1	3位 愛媛県	66.2
4位 熊本県	60.0	4位 熊本県	61.5
5位 愛媛県	59.4	5位 山形県	59.6
6位 岐阜県	58.9	6位 栃木県	58.3
7位 栃木県	58.1	7位 鳥取県	55.6
8位 鳥取県	55.2	8位 静岡県	54.9
9位 和歌山県	54.6	9位 佐賀県	54.0
10位 福島県	54.1	10位 和歌山県	53.3

<ランキングの算出方法>

※集計は各都道府県への宿泊旅行件数がベース

①訪問した旅行先を選んだ理由を「当てはまる」「やや当てはまる」「どちらともいえない」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の5段階から選択

②「当てはまる」「やや当てはまる」の割合が多い順にランキング

TOPIC 《テーマ別・都道府県魅力度ランキング①》

(単位：%)

■ 地元ならではのおいしい食べ物が多かった

- 1位：高知県、2位：石川県、3位：北海道

昨年7位の高知県が6ランクアップで1位に返り咲き。2位の石川県は数値を上げるも高知県に及ばず。

高知県は2014年度は1位、2015年度は7位と順位を下げたものの、今年また1位を獲得した。「選んだ理由別」の「そこならではの食・特産品に興味があったから」ランキングでも1位を獲得しており、食を求めて訪れる旅行者の期待に応えた形となった。2位の石川県は前年度から2.1pt伸ばすも、1位の高知県には及ばなかった。5位の福井県、6位の山形県、9位の大分県が新たにベスト10入り。

2016年度 順位	
全体平均	59.0
1位 高知県	80.8
2位 石川県	78.1
3位 北海道	75.9
4位 沖縄県	73.7
5位 福井県	72.7
6位 山形県	71.4
7位 富山県	71.0
8位 広島県	70.7
9位 大分県	69.9
10位 香川県	69.4

2015年度 順位	
全体平均	59.0
1位 石川県	76.0
2位 北海道	75.1
3位 沖縄県	74.7
4位 富山県	74.3
5位 香川県	73.4
6位 鹿児島県	73.1
7位 高知県	72.4
8位 長崎県	71.6
9位 広島県	71.5
10位 福岡県	71.4

(単位：%)

■ 魅力のある特産品や土産物が多かった

- 1位：沖縄県、2位：石川県、3位：京都府

沖縄県は12年連続1位。2位の石川県は前年から3.6pt上昇、2ランクアップ。

1位沖縄県では「ちんすこう」「泡盛」「シーサー」などが変わらぬ人気。2位の石川県は前年から3.6pt伸ばし、2ランクアップ。「海産物」「金箔」や「和菓子」、「九谷焼」などのコメントが見られる。6位の長崎県、8位の広島県、9位の愛媛県、10位の山形県が新たにランクイン。広島県はもみじ饅頭や牡蠣などに加えて、レモンやカーブグッズなどのコメントも。

2016年度 順位	
全体平均	48.1
1位 沖縄県	68.7
2位 石川県	65.0
3位 京都府	64.9
4位 北海道	64.0
5位 高知県	63.8
6位 長崎県	59.3
7位 鹿児島県	59.2
8位 広島県	58.0
9位 愛媛県	57.3
10位 山形県	56.0

2015年度 順位	
全体平均	48.8
1位 沖縄県	69.0
2位 高知県	63.7
3位 北海道	62.7
4位 石川県	61.4
5位 熊本県	60.8
6位 青森県	60.7
7位 京都府	60.2
8位 富山県	60.0
9位 鹿児島県	59.9
10位 新潟県	59.3

(単位：%)

■ 魅力的な宿泊施設が多かった

- 1位：大分県、2位：沖縄県、3位：岐阜県

1位の大分県は2年連続。由布院温泉や別府温泉などの有名宿泊施設に関するコメントが多い。2位の沖縄県は民宿も人気。

岐阜県が5ランクアップの3位に。下呂や奥飛騨などの温泉地への評価が高い。6位に石川県、10位に栃木県が新たにランクイン。石川県は温泉宿以外にも、金沢近辺のホテルへの評価も高い。栃木県は温泉宿、ファミリー向けホテル、ペンションなど多くの形態の宿がコメントで挙げられた。

2016年度 順位	
全体平均	42.4
1位 大分県	65.6
2位 沖縄県	60.3
3位 岐阜県	51.9
4位 山形県	51.5
5位 北海道	50.5
6位 石川県	50.0
7位 千葉県	49.5
7位 和歌山県	49.5
9位 愛媛県	49.2
10位 栃木県	49.0

2015年度 順位	
全体平均	42.7
1位 大分県	57.4
2位 沖縄県	56.0
3位 熊本県	53.1
4位 和歌山県	52.6
5位 千葉県	51.9
6位 愛媛県	51.8
7位 北海道	51.1
8位 岐阜県	49.3
9位 山形県	48.7
10位 三重県	48.3

(単位：%)

■ 地元の人へのホスピタリティを感じた

- 1位：沖縄県、2位：鹿児島県、3位：高知県

1位沖縄県は12年連続1位、2位に3ランクアップの鹿児島県。地元の人とのコミュニケーションが評価ポイント。

1位の沖縄県は「声をかけてもらった」「店員と話し込んだ」など地元の人とのふれあいが多く挙げられている。2位の鹿児島県は「地元愛が感じられる」「鹿児島弁で接してくれた」などのご当地ならではのふれあいが評価されている。4位の山形県は宿泊施設の従業員に関するコメントが目立つ。

2016年度 順位	
全体平均	24.4
1位 沖縄県	47.4
2位 鹿児島県	38.9
3位 高知県	36.5
4位 山形県	33.9
5位 岩手県	32.9
6位 熊本県	32.5
7位 福島県	31.3
8位 京都府	30.0
9位 北海道	29.7
10位 長崎県	29.4

2015年度 順位	
全体平均	24.4
1位 沖縄県	46.5
2位 長崎県	34.3
3位 高知県	34.1
4位 岩手県	33.1
5位 鹿児島県	32.0
6位 宮崎県	31.7
7位 山形県	31.6
8位 徳島県	30.7
9位 熊本県	30.5
10位 北海道	30.3

(単位：%)

■ 子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：千葉県、2位：沖縄県、3位：和歌山県

トップ3までは9年連続で同じ顔ぶれ、順位は前年度と変わらず。1位の千葉県は2008年度から連続して1位。

おなじみの顔ぶれが並ぶ中、6位に大分県、9位に静岡県が新たにランクイン。大分県は別府が人気で、動物園や水族館、温泉プールに加えて、地獄めぐりなどのコメントも。静岡県はテーマパークや鉄道、海水浴に加えて、いちご狩りなども人気。

2016年度 順位	
全体平均	23.1
1位 千葉県	52.7
2位 沖縄県	39.9
3位 和歌山県	38.6
4位 大阪府	31.7
5位 長崎県	30.9
6位 大分県	29.6
7位 三重県	27.4
8位 栃木県	26.8
9位 静岡県	25.6
10位 福井県	25.0

2015年度 順位	
全体平均	23.4
1位 千葉県	53.2
2位 沖縄県	41.3
3位 和歌山県	39.6
4位 長崎県	35.1
5位 大阪府	30.2
6位 三重県	28.9
7位 栃木県	28.7
7位 新潟県	28.7
9位 北海道	26.0
10位 福井県	25.4

(単位：%)

■ 若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：千葉県、2位：沖縄県、3位：大阪府

トップ3の顔ぶれは2005年度以来変わらず、前年度と同順位。10位に大分県がランクイン。

1位の千葉県は有名テーマパークが圧倒的な人気を誇っている。2位の沖縄県はウォーターアクティビティに加えて街での買い物、島めぐりなども若者に人気ようだ。3位の大阪府はテーマパーク、お笑いライブや飲食店めぐり、買い物などが評価されている。

2016年度 順位	
全体平均	25.1
1位 千葉県	49.9
2位 沖縄県	48.0
3位 大阪府	40.7
4位 東京都	32.1
5位 長崎県	31.0
6位 北海道	28.9
7位 和歌山県	28.7
8位 三重県	26.5
9位 神奈川県	25.6
10位 大分県	25.1

2015年度 順位	
全体平均	25.8
1位 千葉県	52.3
2位 沖縄県	49.9
3位 大阪府	41.6
4位 長崎県	37.7
5位 東京都	31.7
6位 和歌山県	28.4
7位 北海道	27.9
8位 神奈川県	27.8
9位 福岡県	27.2
10位 三重県	26.8

(単位：%)

■ 大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：沖縄県、2位：京都府、3位：千葉県

京都府が前年度4位から2ランクアップで2位に。6位に三重県、7位に大分県、10位に長野県がランクイン。

1位の沖縄県は、マリナクティビティやバーでの飲食など。2位にランクアップした京都府は、神社仏閣めぐり、祇園などの町あるきだけでなく、近代的な京都駅周辺も評価が高い。7位の大分県は温泉、別府の地獄めぐりなど、10位の長野県はアウトレットやスノーアクティビティ、またゴルフなどのコメントが見られる。

2016年度 順位	
全体平均	38.6
1位 沖縄県	54.2
2位 京都府	52.5
3位 千葉県	52.0
4位 長崎県	47.2
5位 大阪府	45.2
6位 三重県	43.6
7位 大分県	42.0
8位 北海道	41.8
9位 島根県	41.7
10位 長野県	41.1

2015年度 順位	
全体平均	39.5
1位 千葉県	55.7
2位 沖縄県	54.8
3位 長崎県	50.7
4位 京都府	49.1
5位 奈良県	46.9
6位 島根県	46.0
7位 大阪府	45.5
8位 和歌山県	43.0
9位 広島県	42.5
10位 北海道	41.9

(単位：%)

■ 現地で良い観光情報
を入手できた

－ 1位：沖縄県、
2位：京都府、
3位：奈良県

富山県、鹿児島県がトップ
10入り。

駅や観光案内所、パンフレットなどの情報源に加えて、地元の人から直接情報を得ているケースもある。

2016年度 順位	
全体平均	26.9
1位 沖縄県	46.4
2位 京都府	41.0
3位 奈良県	36.5
4位 長崎県	34.9
5位 島根県	34.2
6位 高知県	34.1
7位 北海道	33.8
8位 愛媛県	33.5
9位 富山県	32.6
9位 鹿児島県	32.6

2015年度 順位	
全体平均	27.5
1位 沖縄県	46.1
2位 奈良県	41.1
3位 京都府	37.3
4位 青森県	36.9
5位 島根県	35.9
6位 北海道	35.7
7位 高知県	35.5
8位 長崎県	33.7
9位 広島県	33.3
10位 愛媛県	33.2

＜ランキングの算出方法＞

※集計は各都道府県への宿泊旅行件数がベース

①訪問した旅行先の評価を「そう思う」「ややそう思う」「ふつう」「あまりそう思わない」「そう思わない」の5段階から選択

②「そう思う」「ややそう思う」の割合が多い順にランキング

＜コメントの回答方法＞

「そう思う」「ややそう思う」と回答した設問に任意でコメント記入

※対象設問：「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」「魅力のある特産品や土産物が多かった」「魅力的な宿泊施設が多かった」「地元でのホスピタリティを感じた」「子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「現地で良い観光情報を入手できた」

【参考】

旅行に対する関心度・行ってみたい旅行

「旅行は趣味である」と答えた人は61.3% 女性の20～34歳でもっとも関心が高く、65.4%

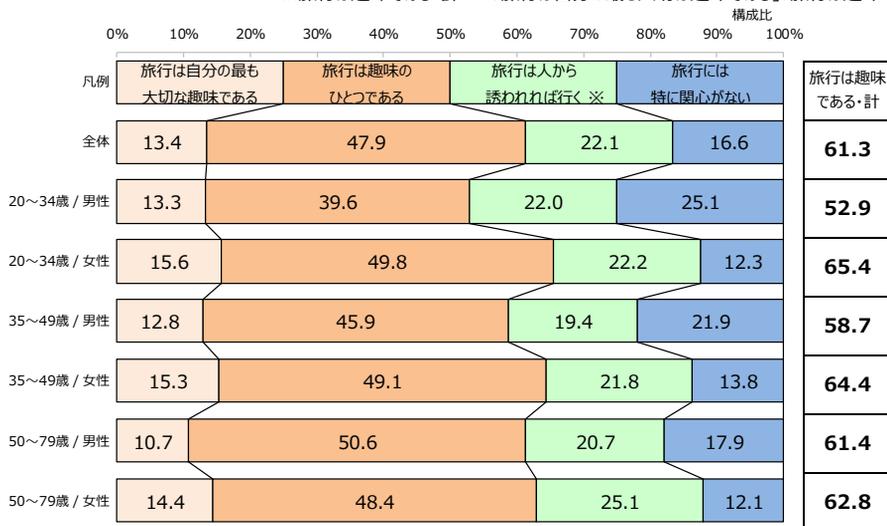
「旅行は自分の最も大切な趣味である」と回答した人は13.4%、「旅行は趣味のひとつである」（47.9%）とあわせて旅行を趣味としている人は61.3%であった。20～34歳の女性で「旅行は趣味である」と回答した人の割合が高く、65.4%。今後1年以内に行ってみたい旅行を尋ねると、「おいしいものを食べる旅行」「友人・仲間との関係を強くする旅行」は女性の20～34歳が最も高い。一方、「身体を動かして楽しむ・遊ぶ旅行」「アニメ・漫画に関連するスポットやイベントを楽しむ旅行」は男性の20～34歳でもっとも高い。

◇性・年代別 国内宿泊旅行に対する関心度（単一回答）

<ベース：1次調査集計対象2万人>

※「旅行は人から誘われれば行く」=旅行は家族や友人から誘われれば行くが、自分から行くとは思わない

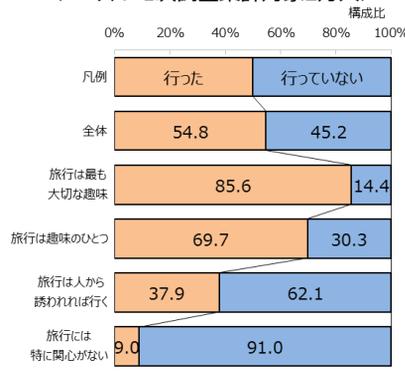
※旅行は趣味である・計：「旅行は自分の最も大切な趣味である」「旅行は趣味のひとつである」と回答した人の割合



◇旅行関心度別 昨年度の国内

宿泊旅行実施有無（単一回答）

<ベース：1次調査集計対象2万人>



◇性・年代別 今後1年以内に行ってみたい旅行（それぞれ単一回答）

<ベース：1次調査集計対象2万人>

※各旅行について「すぐに行きたい」「1年以内に行きたい」と回答した人の割合

※全30種類の旅行のうち、属性別の差が大きい8項目を抽出

